

令和元年度 学校評価(自己評価)

あべの翔学高等学校附属 朝陽幼稚園

1. 教育基本方針

「すべては子供のために」を基本方針とし、
幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることと、幼稚園が義務教育及びその後の教育の基礎を培うものであるため、体系的な教育を組織的に行うことを目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ① コミュニケーション能力(日本語&英会話)の育成
- ② 安全管理能力の育成(怪我防止・事故防止等)
- ③ 食育と心身の健やかな成長(自園調理にこだわる安心安全の給食制度・専門の講師による運動能力育成)
- ④ 保護者との情報共有(お子様ひとりひとりに対するていねいな保育実態と保護者との情報共有)
- ⑤ 情報開示とプライバシーの両立(日々の様子を写真で毎日HPに掲載)
- ⑥ 園児一人ひとりの様子を担任だけでなく教職員全員が把握(毎日の朝礼・終礼での情報共有)

3. 評価項目の達成及び今後の課題

評価項目	目標	目標設定理由	評価	自己評価	次年度の改善
コミュニケーション能力の育成	①日常英会話力の習得と育成 ②挨拶の習慣	①外国人との自然な出会いから始まる英会話導入の必要性を重視。 ②日常の挨拶が適正に出来るよう指導。	A	英語のネイティブスピーカーとの遊びの中から自然に英語に馴染めてきている。	保護者も含めて英語に慣れることを目指す。
安全管理	園内での事故撲滅	遊具の使い方、集団での遊び方指導を徹底し、重大事故の発生を未然防止する。	C	何れも軽傷ではあるが、園内で8件の事故が発生した。昨年度16件に比べ半減した。	遊具での遊び方、集団行動のルールの指導を継続してゆく。
体育指導	基礎体力の向上	基礎体力の向上・定着を図る。	A	専門の体育指導の教諭に毎週金曜日に来ていただき、体操教室を引き続き実施した。	次年度も引続き実施していく。
教職員の資質向上	マニュアル・手続書の充実	教職員間での気付き事項を情報共有し、保育内容を充実する	A	園児一人ひとりの保育状況、健康状況を毎日の朝礼、終礼で情報共有することは引続き出来た。	児童一人ひとりの個性に合った保育の充実

行事の充実	保護者満足度・地域満足度を意識した行事の中身を実施。	地域に根差した望まれる幼稚園の実現	B	地域と一体となった園行事(運動会、盆踊り会)、監督消防署、地域と合同での研修会を開催した。	地域とのコミュニケーション緊密化
-------	----------------------------	-------------------	---	---	------------------

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

3. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
A	教職員間の情報共有や保護者との意見交換を通じ、教職員の保育技術向上に努めている。 この結果、当園の特徴を活かした保育を園児に提供出来ていると考える。	園児一人ひとりの個性を活かしつつ、小学校生活での集団生活に困らないように、「自由」と「決まり」を両立する集団活動のルールを身に付けてゆく。

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

4. 学校関係者評価

令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症に対して、園内での感染症対策を実施して頂き、感染者を一人も発生させていないことは十分に評価できると思います。

通常の活動においては、保育参観、運動会、生活発表会など、いろいろな保育場面を見て、附属朝陽幼稚園が大切にしている評価項目・取り組みが十分に達成されていることを確認させて頂きました。

教職員の皆様の日頃の指導のおかげで、子供達は集団生活の中での「自由」と「ルール」の両方を身に付けることが出来たと思います。また、学習面だけではなく、友達に対する接し方、付き合い方、遊び方を子供達が自然に理解し、人と関わることを身に付ける指導をしていただきました。

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長	保護者会会長	評価委員	保護者会書記
評価委員	保護者会副会長	評価委員	卒園児保護者
評価委員	保護者会地区委員長		

以上